



日本共産党・前県会議員

2021年6月号

加藤なを子



県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

Tel.0466-25-4776 FAX 25-4761

みんなでいっしょに

あったかい給食に

全員制の 中学校給食を

「全員制の中学校給食をめざす藤沢の会」のみなさんと署名行動に取り組みました。



私たちは、藤沢市の豊かな財源の優先度を変えて予算を組み、年間4校、5年間で19校の自校方式を実現すること、食事の時間についても時間割を工夫してとること（30分で実施している県内の中学がある）と提案します。

加藤なを子は、以前共産党県議団として「中学校給食促進事業費補助金」を創設して市町村が中学校給食を実施できるよう県として支援すべきと、県議会で提案しました。

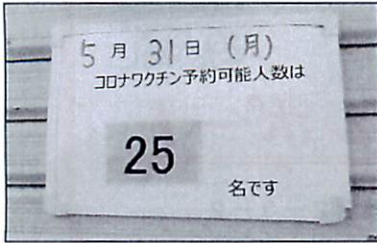
小中学生のお母さんたちが初めてマイクを握りリレートークで訴える内容は、通行中の方々の心に届き、多くの署名が寄せられました。手づくりのパネルやグラフなども注目され、中学生のお母さんから「是非、実現してほしい。」の願いや、「孫のために署名します。」「給食は子どもたちの教育そのもの、藤沢市はお金があるからできるのでは。」など期待の声も寄せられました。

なを子の花だより

今週は桑の実

桑の葉は蚕のエサになる葉ですが、その実はこのように完熟色です。ちょっと濃い目の色で食べるのに勇気がいりますが、以前とても甘かった記憶があります。この写真は民家の玄関の前にあり思わず撮りました。二女が、夏休みに幼稚園で育てていた蚕の幼虫を家に持ち帰り、毎日桑の葉を食べさせていました。夜になると葉を食べる「ムシャムシャ」という音が響いていたことを思い出しました。これからサクランボやプラムの季節になります。果物大好きな私には、嬉しい季節です。





この病院の前には連日、朝5時頃から高齢者の方々が並ぶそうです。患者さんのみの対応だそうですが、高齢者の患者さんが多いため混雑し並ぶのだそうです。



「どこの医療機関が早く予約がとれ接種できるか。」訪問する中でさまざまなお話を伺います。「A病院は300人待っている。B病院は初診でもすぐに予約がとれる。」など情報をいろいろと伺います。接種が早い医療機関は、「3名の医師が次々と接種するから。」とその理由を教えてくださいます。また、「少し落ち着いてから接種しようと思う。」という方もいました。「1回目が終わった。」「来週予約がとれている。」「接種後、微熱が出た。」「これから接種するが、副反応が不安。」のご相談もあります。藤沢駅の通路では、3日連続でモニタリング検査が行なわれていました。

ワクチンの接種、PCR検査の拡充、モニタリング検査、ケア労働者の定期的な検査、そして十分な補償をセットですることが感染を抑え込むことにつながります。

またワクチン接種を行うことは現場にとって大きな負担です。ワクチン接種の負担を考慮し、協力している医療機関への協力金や補助金を行うべきです。東京都は、接種を行った医療機関に協力金を支給することを決めました。県も市も早急に行うことが必要です。引き続きワクチン接種について現状や市民の声を市や県に届け、改善にむけて取り組みます。



「住み続けられるようにしてほしい」

～～建て替えがすすむ県営亀井野団地～～

県営亀井野団地の建て替えがすすめられています。すでに3棟目が完成し、入居されています。今後3年後に4棟目の建設が予定され、奥の古い建物3棟が取り壊される予定です。老朽化した4階建てには、高齢者の方が多くお住いです。味村市議と訪問すると、「取り壊されるため、新しい建物に移りたいがスライド家賃で金額が上がるため負担が重く移れない。他の県営住宅か民間アパートに移るしかない。住み続けられるようにしてほしい。」と訴えがありました。小学生のおはようボランティアをしてくださっている方から、「建て替え工事が行なわれている間、工事車両が右折禁止の団地内道路に入ってきて危険、さらに通学路に9時を過ぎてから大型車両が入る約束が守られていない。子どもたちの安全のためにも守ってほしい。」という声が寄せられました。改善を求めます。

藤沢革新懇



「平和・民主・革新の日本をめざして」市民行動に参加しました。

日本の夜明けをめざして・市民行動第一弾(5月22日藤沢駅北口)。のべ30名以上の参加者は、つぎつぎにマイクを握り、政権交代へ、野党が統一して衆議院選挙へと、市民の運動を大きく広げる活動を、呼びかけました。

